

スキルアップ研修会のご案内

会員の皆様には日頃より当組合にご理解、ご協力を頂きまして感謝申し上げます。
皆様、お誘いあわせの上、ふるってご参加ください。

【日時】 平成 28 年 6 月 5 日（日） 13:00～16:00

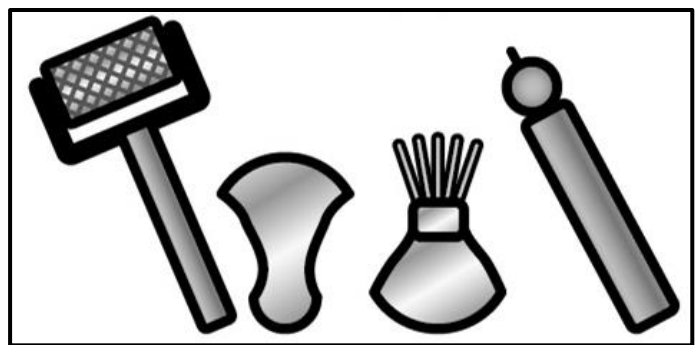
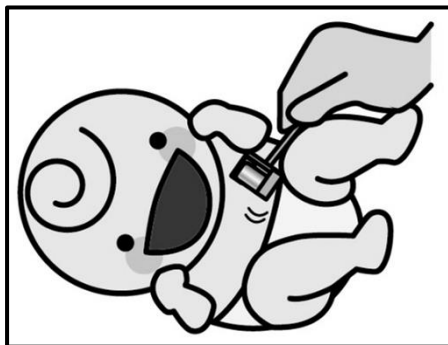
【会場】 県師会事務所（千葉市中央区新宿 1-8-11 千葉新宿ビル 3 階）

【講師】 知久 京子 先生（あんり針灸院）

【演題】 『小児針入門』

～子供の針は苦手ですか？子供達が笑いながら駆け込んでくる針灸院になりましょう～

【費用】 会員・学生 2,000 円、非会員 3,000 円



*参加者は普段お使いの小児針があればご持参ください。

ステップアップ研修会(6/5) 参加申込 FAX 043-301-3499 TEL 043-301-3489

お名前		地域名	支部	
電話番号		誘導	有	無

※会場準備の都合上、ご参加いただける方は、6月3日までに事務局までご連絡ください。

裏面には本講座の詳細と、知久先生からのお話もありますので、こちらもご覧ください。

《裏面へ》

講座内容

関西では小児針の需要が多いですが、関東ではあまり知られていません。

基本的なつぼは大人と同じなので針のドーゼの加減が必須です。

小児時に針治療を受けていると、大人になっても針灸治療に抵抗感を持たずに通院します。

針灸人口を増やすために小児針は大切な役割を果たしています。

私どもは小児針で風邪・扁桃腺炎・喘息・疳の虫・夜泣き・食欲不振・腹痛・夜尿症などを扱いますが、近年は花粉症で来院する子供が増加しています。

小児針が痛くないことを知ると乳児も泣かずに治療を受けてくれます。併せて、小児に多い扁桃腺炎の刺絡・夜尿症の灸・花粉症の耳つぼも覚えておくと便利です。

基本の小児針を乳児(1歳未満)・幼児(3歳未満)・小児(10歳未満)と3段階に分け習得します。

また、小児針専用の器具と豪針での代用治療法をマスターしましょう。

知久先生からのお話

私は子供の頃から、盲人の父の小児針治療を受けていました。風邪による発熱・喉痛・咳・関節痛はもとより頭痛やしもやけ、腹痛、肋間神経痛、捻挫、突き指などあらゆる苦痛はすべて父が治してくれました。

父の小児針の原点がどこにあるかは、今となっては不明ですが、痛くなく症状が改善する小児針は私にとって見習うべき先輩の技の一つです。

現在弟が実家の鍼灸院を継ぎ3代目として小児針を活用しています。そして患者もまた、5世代に亘って通院してくれているのは小児針によって幼い頃から針灸に慣れ親しんでいるからこそです。小児針は利益にはなりにくいと思われるかもしれませんが、息の長い鍼灸院経営のため、次の世代に針灸患者を増やすためにはおろそかにできない分野ではないでしょうか？

昭和50年代は風邪や扁桃腺炎の小児針患者が多かったのですが、今は花粉症の患者が増えました。兄弟・親子で一度に複数の患者が来院するので、費用対効果は大きいといえます。

神奈川県で開業して30年になります。最初に治療した子供たちが今社会人になっています。結婚して子供達を連れてきてくれる日はそう遠くないでしょう。

その日を楽しみに仕事をしております。



貴重な研修となっております。
会員外の先生もお誘い合わせの上、ご参加をお待ちしております。

